

ダスト


だれか、私という物語を覚えていてほしい。

a film by MILCHO MANCHEVSKI "DUST"

DUST
TO
DUST,
ASH
TO
ASH



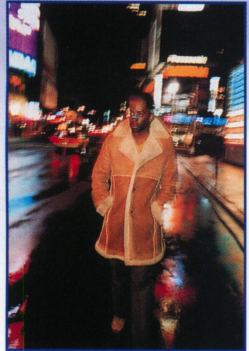
「ビフォア・ザ・レイン」の奇才ミルチョ・マンチェフスキー監督が贈る、人間の存在意義を壮大なスケールで描く感動作。

●2001年ベネチア国際映画祭オープニング作品●2001年東京国際映画祭特別招待作品
ジョセフ・ファインズ / デヴィッド・ウェンハム / エイドリアン・レスター / アンヌ・プロシェ / ニコリーナ・クジャカ / ローズマリー・マーフィー
監督・脚本:ミルチョ・マンチェフスキー / 製作:クリス・アウティ、ベスナ・ヨハノスカ、ドメニコ・プロカッチ / 撮影監督:バリー・アクロイド / 編集:ニック・ガスター / プロダクション:デザイナー、デビッド・マンズ / 音楽:キリル・ツァイクフスキ
サウンド:スーパバイザー・ピーター・バルドック / 録音:ルビー・グベール / 衣装:アンヌ・イェントリツコ、アン・クラフトリー、メタ・セペール / フィルム:コンソニウム提供 / ヒストリー・ドリームズ、エナ・フィルム、ファンタゴ・プロダクション、シャドー・フィルム
サウス・フォーク・ピクチャーズ提携 / フィルム:カウンシル、フィルムステイフタンク・ワールドレイン・ウエストファーレン、マケドニア共和国文化省協力 / BSKYB、フリティッシュ・スクリーン参加 / 配給:松竹  www.shochiku.co.jp/dust
©History Dreams/ena Film/Fandango 2001

語り継がれる限り、私はいる。 100年の時を経ても。

「ピフォア・ザ・レイン」のミルチョ・マンチェフスキー監督が 7年の歳月をかけた渾身の最新作

「私」が死んだら、「私」はどこへ行くのだろう。「私たち」はいったい何を残すのだろう。子孫? 日記や写真、映画などの記録? あるいは



家族や友達に心に刻まれる思い出か? それとも私たちは結局、骨霊に残るただの灰、ほんの一握りの塵(ダスト)に過ぎないのだろうか……。

生と死を巡る人類の永遠の疑問に、独創的かつ壮大な物語で挑んだのはミルチョ・マンチェフスキー監督。1994年のデビュー作「ピフォア・ザ・レイン」でいきなりベネチア国際映画祭金獅子賞他10部門を独占、さらにアカデミー賞外国語映画賞にもノミネートされ、各国で30以上の賞を獲得、世界はこの若き奇才の登場に熱狂した。

その衝撃的な第1作から7年の歳月を、マンチェフスキー監督は本作「ダスト」の準備に費やした。「7年間の間に私は真に大切なことを悟った」と語るマンチェフスキー監督が、その才能の全てを注ぎ込み、20世紀を総括しようと試みた一大叙事詩がここに誕生した。

ニューヨークからバルカン半島へ、現代から100年前へ 時空を越えて語られるある兄弟の数奇な運命の物語

2000年、ニューヨーク。空き巣狙いで古いアパートに押し入った青年エッジは、部屋の住人である老女アンジェラに逆に銃で脅され、100年前にアメリカ西部からヨーロッパへ渡った兄弟の物語を無理やり聞かされる。同じ女性を愛し、宿命のライバルとなったルークとイライジャ。兄ルークは賞金稼ぎのガンマンになって動乱のバルカン半島へ向かう。話の途中で発作を起こして倒れたアンジェラを病院へ運ぶエッジ。彼は金貨の隠し場所を教えること引き換えにアンジェラの話の続きを聞く。しかし、エッジはいつしか物語そのものに魅せられていく。兄弟の運命は? アンジェラと兄弟の関係は? 彼女が隠す莫大な金貨とは?

100年前と現代、バルカン半島とニューヨーク、時空を自在に行き来する物語は息をつく暇もない程、緻密に巧妙に練り上げられていく。そして、

形あるものは全て滅するように人間の存在もダストに過ぎないとしても、誰かがその存在の軌跡を物語として語り継ぐ限り人間の魂は永遠に消えないという、希望と感動のラストへとつながっていく。

国際的な才能が結集! 圧倒的な存在感を魅せる注目のキャスト

弟のイライジャ役には「恋におちたシェイクスピア」「エリザベス」「キング・ミー・ソフツリー」で国際的にも高く評価されているジョセフ・ファインズ。少ない台詞で圧倒的な存在感を必要とされる難しい役所をこなしている。兄のルークを演じるのは、マンチェフスキー監督が「これまでに会った



最高の俳優の一人だ」と絶賛するオーストラリアの新鋭、デビッド・ウェンハム。「ムーラン・ルーージュ」や「ロード・オブ・ザ・リング 二つの塔」にも出演するなど、今後の活躍が期待される。兄弟が愛する宿命の美女、リリスには「めぐり逢う朝」「シラノ・ド・ベルジュラック」のアンヌ・プロシェが扮している。

現代ニューヨークの雑多な喧騒と、マケドニアの大地と空、岩山で構成された壮麗な風景を計算され尽くした見事なカメラワークでとらえたのは、ケン・ローチ監督作品で知られるバリー・アクロイド。

本作は第58回ベネチア国際映画祭オープニング作品、第14回東京国際映画祭特別招待作品として上映された。



a film by MILCHO MANCHEVSKI "DUST"

2001年/イギリス、ドイツ、イタリア、マケドニア/カラ/アメリカンビスタ/SR-D/2時間5分/日本語字幕:太田直子 配給:松竹株式会社 <http://www.shochiku.co.jp/dust>

今夏、ロードショー! (上映スケジュールは劇場にお問合せください)

特別前売鑑賞券好評発売中! 一般券 ¥1,500 (当日一般¥1,800のところ)

劇場窓口、チケットぴあ、ローソクチケット各種プレイガイドにて発売中!!

劇場窓口にてお買い求めの方に「魂を燃やし尽くせ! オリジナル・マッチ、プレゼント! (先着限定)」

2002. 8. 31

梅田スカイビル(空中庭園) タワーイースト4F
梅田ガーデンシネマ
06-6440-5977 www.cineplex.co.jp

* 毎土・日・水曜日および祝日は
混雑状況に関わらず入場整理券を発行します

